



NILZZ

RACING FACTORY

FUJI GT SPRINT RACE

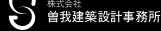
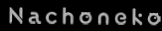
2025 AUTOBACS SUPER GT Round.4 RACE REPORT

カテゴリー : SUPER GT SERIES 2025 GT300 クラス
 エントラント : NILZZ Racing
 カーナンバー : 48
 マシン名称 : 脱毛ケーズフロンティア GO&FUN 猫猫 GT-R
 ドライバー : 井田太陽 (RACE1) / 柴田優作 (RACE2)

開催地 : 富士スピードウェイ (静岡県)
 開催日 : 2025.8.2~2025.8.3
 天候 : 晴れ / 曇り / 雨 (8.2) 晴れ / 曇り (8.3)
 イベント動員数 : 24,900 人 (8.2) / 27,400 人 (8.3)

RACE1 公式練習 : 1'39.900 (GT300 クラス 28 位)
 RACE1 公式予選 : 1'42.231 (GT300 クラス 28 位)
 RACE1 決勝 : GT300 クラス 26 位 (31 周)

RACE2 公式練習 : 1'39.734 (GT300 クラス 27 位)
 RACE2 公式予選 : 1'39.102 (GT300 クラス 24 位)
 RACE2 決勝 : GT300 クラス 22 位 (31 周)





2025 年 SUPER GT シリーズ第 4 戦“FUJI GT SPRINT RACE”が 8 月 2 日から 3 日にかけて、静岡県富士スピードウェイで開催された。

今回は SUPER GT シリーズ戦としては初のスプリントレース形式で行われ、2 日の GT500 クラスとの混走となる RACE1 に井田太陽が、3 日の GT300 のみの RACE2 には柴田優作がエントリーした。

8 月 2 日 (土) RACE1

快晴に恵まれたが、真夏の強い日差しが照り付け、猛暑となった富士スピードウェイ。

この日はまず 8 時 30 分から公式練習が行われた。

RACE1 を担当する井田は順調に周回を重ね、1 分 39 秒 900 を記録。この後続く予選、そして RACE1 決勝に向けて順調にスケジュールを進めていった。

11 時 40 分、20 分間のタイムアタック形式で争われる公式予選が開始された。

セッション後半のコース上の混雑を避けるため、井田はコースオープン直後からコースインを選択。

コースインしアタックに向かう井田よりシフトチェンジに問題があると無線で報告を受ける。

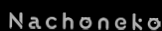
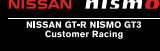
3 周計測の後、井田はピットに戻り、予選アタックを終了。

タイムは 1 分 42 秒 231 にとどまり、RACE1 決勝は GT300 クラス 28 位で予選を通過した。

その後、決勝までの短いインターバルの間にトランスミッションの交換作業が行われた。

作業は完了したが、ピットロード出口封鎖までには間に合わず、RACE1 決勝はピットスタートとなってしまった。

全車がスタートラインを通過し、ピットレーン出口が解放。井田はレースに合流する。





後方からの追い上げを図るが、序盤からブレーキバランスがあまり良くなく、ペースを上げることが難しい井田。無線で状況を伝えるよう試みるが、無線の調子が良くなく、チームとの交信が十分に行えなかった。また、レース中に降雨もあり、これが井田のレースを更に難しいものとした。井田は GT300 クラス 26 位で完走を果たした。

8月3日(日) RACE2

前日に発生したトラブルは、メカニックの手によって修復は完了。

2 日目の RACE2 は柴田が全セッションをドライブする。

朝から強い日差しが照り注ぐなか、8 時 30 分から行われた公式練習は、普段より短い時間ということもあり、セッティングの調整を主に行った。

GT500 クラス予選、FIA F4 の決勝レースを挟み、行われた GT300 クラス RACE2 予選。

RACE1 予選の動向から、少し間を置いてからコースインした柴田は計測 5 周目に 1 分 38 秒 658 を記録。

しかし走路外走行と判定され、このタイムは不採用となってしまった。

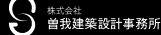
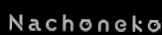
計測 7 周目の 1 分 39 秒 102 がベストタイムとして採用され、柴田は GT300 クラス 24 位で予選を通過した。

GT300 クラス RACE2 のスタート直前から曇り空となったが、暑さは変わらず。

RACE2 は、周回数が設定された RACE1 とは異なり、50 分間のタイムレースで行われる。

24 番手スタートの柴田はスタート後順位を上げるべく果敢に攻めの走りを見せる。

しかしストレートスピードが伸びず、前車の攻略に苦しんだ。





結果、大きく順位を上げることは叶わず、柴田は RACE2 を GT300 クラス 22 位でフィニッシュした。

今回は通常と異なるスプリントレースという事で、上位進出の期待感がありましたが、結果は非常に厳しい展開となってしまいました。

次戦鈴鹿大会までのインターバルは短いですが、チーム一丸となり、まだまだ続く暑さに負けない、熱いレースをお見せできるよう頑張ります。

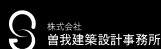
引き続き皆様のご支援、ご声援を賜ります様、よろしくお願いいたします。



Nachoneko



LEGAL FRONTIER



www.hiltex.co.jp

アーツ銀座
クリニック



NISSAN nismo

NISSAN GT-R NISMO GT3
Customer Racing

Ritemas



inoiki
NOUGEI
KANRI

